

研修名 全体研修（午後）

平成28年8月23日（火）14：00～15：30

講 演 「冗談クラシック～音楽の実験室～」

講 師 ヴァイオリンとピアノによる音楽デュオ
スギテツ 氏



1 講演要旨

1) プロフィール

杉浦哲郎（ピアノ・作編曲） 岡田鉄平（ヴァイオリン）

「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに、誰もが知っているクラシックの名曲をさまざまな音楽や環境音とマッシュアップ（＝融合）させ、聴くだけでなく観て楽しいコンサート活動を全国各地で展開している異色のデュオ。

2) 演奏曲・・・クラシックの名曲＋クラシック以外の名曲

♪剣のすいすいすっころばし

(ハチャトゥリアン作「剣の舞」+「すいすいすっころばし」)

♪アイネクライネ3分クッキング

(モーツアルト作「アイネクライネ」+「キューピー3分クッキング」)

※ ト長調 ⇒ ハ長調

♪犬のおまわりさんの運命

(ベートーベン作交響曲第5番「運命」+「犬のおまわりさん」)

※「犬のおまわりさん」が長調なので、「運命」の短調に寄せる。

※犬のぬいぐるみの手袋着用

♪笑点メヌエット

(ボッケリーニ作「メヌエット」+「笑点テーマ曲」)

※拍子を変える 4/4拍子⇒3/4拍子

♪美しき青きドナウ河の殺人事件

(ヨハンシュトラウス作「美しき青きドナウ」+

「火曜サスペンス劇場のテーマ曲」)

※拍子を変える+調を変える

※パトカー（ソ#ファ#）ヴァイオリン グリッサンド

※救急車（ソヒシ）

♪暴れん坊ウィリアムテル

(ロッシーニ作「ウィリアムテル序曲+暴れん坊将軍」)

※家電ファックスの送信音、コンビニの入口を「開ける音」

♪新説動物の謝肉祭（いろいろな動物で「白鳥」）

(サンサーンス作「動物の謝肉祭 白鳥」)

※白鳥の原曲⇒メロディは変えず、ピアノで動物を変える
うぐいす、ねこ、馬、ウルトラマン

♪扁桃腺上のアリア

(バッハ作G線上のアリア+人の声のビブラートの違い)

※松任谷由実風、武田鉄也風、西城秀樹風、浅田美代子風
美輪明宏風

♪嵯峨野観光鉄道トロッコ列車

※ふみきり音 ファ+ファ♯

♪おもちゃによるおもちゃのシンフォニー

(モーツアルト作+玩具の楽器)

♪日本舞曲第5番

(Brahms 作ハンガリー舞曲+日本古来の音階)

2 感想

音楽家ではない者でもどこかで耳にしたことがあるクラシックの名曲が、童謡やTV番組のテーマ曲などとミックスされ、とても楽しくおもしろくクラシックに触れることができました。

どの組み合わせにも融合させるための化学反応（工夫）があり、あそびと好奇心がいっぱいでした。曲の組み合わせを教えてもらってからの演奏で、どこからどう曲が変わるので、ワクワクしながら聴くことができ、「これだ！」と気づいた時もまた、楽しさが増し、二人の素晴らしい演奏に感動しました。

午前の研修でも「子どものあそびを、視点を変えて見ることで新たな成長につながる。」と学びましたが、スギテツさんのコンサートも“こうでなければならない”名曲を、視点を変え表現することで、親しみの持てる演奏に変化させて表現されているものだと感じました。高い技術や豊かな感性があるスギテツさんだからこそできるものではあると思いますが、これから保育の中でいろんなところにあそびと好奇心の芽を持ち、子どもたちに関わっていきたいと思います。ありがとうございました。

（記録 木津川市立やましろ保育園 亀井 明美）